

LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

日比谷図書文化館 iPad 館内貸出サービス終了のお知らせ

サービス提供期間 2019年3月31日(日)まで

インターネット席の混雑緩和を目的に「iPad館内貸出サービス」をスタートしましたが、昨今のスマートフォンの普及などにより、インターネット席およびiPad館内貸出の利用が減少していることから、2019年3月31日をもちまして「iPad館内貸出サービス」を終了させていただきます。

**注意!** ●リサイクル資料提供日のご案内  
3月のリサイクル資料 → 3月19日(火)  
3月は休館日が3日(日)に変更になりますが、リサイクル資料の提供は19日(火)となります。休館日の翌日ではありませんのでご注意ください。

Exhibit Information 3月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

**2F** パープルゾーン 三角台 「江戸の花 東京の花」(～3/24) **NEW!**  
もうすぐ寒い冬が終わり、草木が芽吹き始める季節。春の花や樹木、桜に関する資料の他、「江戸の花」から連想される浮世絵の美人画など、花以外の資料も展示しています。

**3F** グリーンゾーン 「豊かな暮らし」(～6/14) **NEW!**  
「豊かな暮らし」とはなんなのでしょう?衣食住、健康、仕事、お金、人間関係など人の数だけそのものさしがあります。あなたにとっての「満ち足りた暮らし」を探る展示です。

**3F** ブルーゾーン 「漢字展」(～4/12)  
毎年、1年を漢字1字で振り返る企画が目玉で、近年ではアートの面からも海外で注目を集めている「漢字」。我々が暮らしで欠かすことのできない「漢字」という文字に改めて焦点を当て、その魅力を伝える展示を行います。

展示 PICK UP

2F パープルゾーン【江戸・東京】の本を集めたゾーン ～5/17(金)

日比谷公園 ～時代をみつめた100年～

日比谷公園は、林学博士本多静六を中心に設計され、明治36年に開園しました。以来1世紀余り、政治や経済、文化の中心にある都市公園として現在に至っています。その間、日比谷焼酎事件や2・26事件、関東大震災、進駐軍による接収など、日本の近代史に何度も関わってきました。今回は、公益財団法人東京都公園協会の貴重なアーカイブ写真を展示するとともに、「公園」の誕生に関する資料や、雲形池の鶴の噴水にまつわる資料を展示しています。



「平成の31年」を振り返るオススメ本3選

- 『(平成)の正体』 ●著者:藤井 達夫 ●出版社:イースト・プレス ●出版年:2018年
- 『FAKEな平成史』 ●著者:森 達也 ●出版社:KADOKAWA ●出版年:2017年
- 『J-POP文化論』 ●著者:宮入 恭平 ●出版社:彩流社 ●出版年:2015年

**新** しい元号の発表までもなくですね。3階グリーンゾーン「平成の31年」展示(～2/15)にて、新元号に使用してほしい漢字のアンケートを実施しました。一番多く寄せられた漢字は「安」、次いで「和」という結果でした。いずれの漢字も、次の時代へのみなさんの願いが込められたものばかりでした。たくさんのご参加をありがとうございました。

From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのお知らせ】

〈千代田図書館 企画展示〉 としょかんのこしよてん100回記念  
**図書館からはじまる“ぶらり旅” まるごと神保町**  
前期:開催中～3月23日(土)  
後期:3月25日(月)～5月25日(土)  
場所:千代田図書館 9階 展示ウォール ほか  
神田古書店連盟との連携展示「としょかんのこしよてん」100回目として、神田神保町の古書店や古書店主のおすすめ本、神保町のグルメや歴史など、まちの魅力をさまざまな展示物で紹介しています。同時に関連本225冊を展示するほか、神保町をより深く知る事ができるスタンプラリーやガイドツアーも開催します。展示をご覧になって、神保町へ足を運んでみてください。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

**早春** といえ朝夕は冷え込む日もありますが、日ごとに暖かさが増し日差しの中を歩けば気持ちのよい季節がそろそろやって来ました。日比谷公園には時代と共に歩んだ様々な記念物や場所が存在し、近隣には新しい商業施設や新しいビルもオープンしています。公園の一角に位置する日比谷図書文化館は本を読み、調べるだけでなく、個人的な図書展示も当館図書フロアの魅力のひとつです。様々なテーマの企画展示を用意しており、館内を散策すれば、新たな本との出会いが待っています。公園や周辺を散策し、本とふれあう。そのようにゆったりと一日を過ごすのは如何でしょう?

**日比谷を楽しむ**

**大噴水と東京ミッドタウン 日比谷**

**北極航路開設記念碑**  
スウェーデン航空から贈られた古代北極文字を刻んだ記念碑

**植輪**  
1965(昭和40)年、平和台公園(宮崎県)の姉妹公園を記念して贈られたもの

**日比谷公園開園当時の水飲み**  
馬も飲めるようになっていた。

**“知の拠点” 日比谷図書文化館**  
カフェやレストランもあります。

**NEW** スポーツステーション & カフェ 2018年11月オープン!

**首賭けイチョウと日比谷松本楼**

calendar 開館時間:平日10時～22時 土曜10時～19時 日祝10時～17時 休館日

2019年3月							2019年4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2		1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				
31													

information  
**3月の休館日のお知らせ**  
“東京マラソン2019”の開催に伴い、日比谷公園および歩道を含む周辺道路が交通規制されるため、下記の通り3月の休館日を変更いたします。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。  
**休館日:3月3日(日)** ※休館日予定の3月18日(第3月曜日)は全館開館いたします。

access  
〔都営地下鉄〕●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分  
〔東京メトロ〕●丸ノ内線●日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口徒歩3分  
●千代田線「霞ヶ関駅」C4出口徒歩3分 ●JR「新橋駅」徒歩10分  
※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

■お問合せ先:千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4  
TEL:施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/

# 3・4月の講座

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

## 3/8 (金) SDGs 理解からアクションへ パートナーシップで日本の未来をつくろう!

講師: 佐藤 真久(東京都市大学大学院 環境情報学研究所 教授)  
広石 拓司(株式会社エンパブリック代表取締役)

社会の多様化で、従来の縦割りでは対応できない複雑な問題が増えた現代。それらを克服し持続可能な経済・社会を実現するために、企業、NPO、行政、地域、個人は今、何にどう取り組むべきか。SDGsの本質をおさらいしつつ、次の一歩につなげる具体的な道筋を示します。



- 日時:3月8日(金)19:00~21:00 (18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■参加費:1000円

## 3/14 (木)他 江戸歴史講座 第57回 58回 江戸っ子が好んだ寿司と蕎麦(全2回)

講師:飯野 亮一(食文化史研究者)

約1300年前に生まれたなれずしが発展して、早ずしが生まれ、さらに江戸で握りずしが工夫されると江戸っ子の人気食になっていきます。また、江戸に蕎麦屋が誕生すると、江戸ではうどんより蕎麦が好まれ、江戸は蕎麦の町になっていきます。江戸っ子の人気食、寿司と蕎麦についてご紹介します。



すしの屋台『百人一首地口絵手本』梅享樵父著 明治2・3年頃(国立国会図書館蔵)

- 日時:第1回「江戸前の魚で握った握りずし」3月14日(木)19:00~20:30(18:30開場)
- 第2回「うどんより蕎麦を好んだ江戸っ子」3月28日(木)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:各回200名
- 参加費:各回1000円(千代田区民各回500円)

## 3/20 (水) 上廣・日比谷ライブラリーレクチャー リーダーに学ぶ 自分の未来は自分でデザインする!

### ディズニーの元人材トレーナーが教える「夢をかなえる時間の使い方」

講師:櫻井 恵里子(ハビネスコンサルタント・Happiness Career Lab.代表)

人はそもそも何のために仕事をするのでしょうか? 究極は「自分が幸せになるため」に働いているのだと思います。元ディズニーの元人材トレーナーから、夢を持つことの大切さ、将来にむけてのキャリアデザインのお話やリーダーシップ、「人生を変える魔法の時間術」について学びます。時間がないと悩んでいる全ての方におすすめの講座です。(主催:公益財団法人 上廣倫理財団、共催:日比谷図書文化館)



- 日時:3月20日(水)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■参加費:500円(千代田区民・学生無料)
- ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

## 3/25 (月) 人工知能は本当に私たちを幸せにするのか? —『決断』のときを迎えて

講師:山本 龍彦(慶應義塾大学大学院法務研究科 教授)

「AI」という文字を目にしない日はない。自動運転や医療のスマート化など、AIは私たちの生活をより豊かにするといわれる。しかし、本当にそうなのだろうか? AIによって究極の格差社会が生まれるとの指摘もある。この講演では、AI化によっていま何が起きつつあるのかを平易に解説し、自由と平等を重んじる憲法原理に適合したAI社会の実現を模索する。



- 日時:3月25日(月)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員:200名 ■参加費:1000円

## 3/27 (水) それでも紛争地取材をやめない理由

講師:横田 徹(報道カメラマン)

近年の紛争地での邦人人質事件のニュースで、危険地帯を取材するジャーナリストやカメラマンは政府や世間から「厄介者」として扱われている。1997年のカンボジア内戦を皮切りに20年間、東南アジア、中東、アフリカの紛争の最前線を取材し続けてきた報道カメラマンが紛争地の現場の実態を映像と交えて報告する。



- 日時:3月27日(水)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員:200名 ■参加費:1000円

## 4/3 (水)他 旅とクラシック音楽 —非日常的な刺激が作曲家たちに与えたもの(全2回)~「ラ・フォル・ジュルネTOKYO 2019」を前に~

講師:飯田 有抄(クラシック音楽ファシリテーター、ライター)

クラシック音楽の作曲家たちが活躍した時代には、旅は地上や海上を何日もかけて移動する非日常的な体験であり、ときに一生を左右するほどの感動を与え、ときに生死をかけた一大事となることもありました。この講座では「旅と音楽」を切り口に、さまざまな作曲家とクラシック音楽の魅力に迫ります。(協力:ラ・フォル・ジュルネTOKYO2019 運営委員会、ラックスマン、フォステクス、ナクソス・ジャパン)



- 日時:第1回「旅という“刺激”が作曲家たちにもたらしたもの」4月3日(水)19:00~20:30(18:30開場)
- 第2回「音楽は文化と文化の出会いの結晶」4月10日(水)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:各回200名 ■参加費:各回500円

## 4/11 (木)他 現代日本政治を見る眼(全2回)

講師:新藤 宗幸(千葉大学名誉教授)

世論調査では内閣支持率は40%強を示している。けれども政治全体への信頼感は決して高いとはいえない。それはなぜなのか。第1回では、1955年以降の日本政治を対象として、政治に特有な思考と行動を考える。第2回では、日本政治のどこを、どのように変えるべきなのかを、考える。



- 日時:第1回「日本型政治システムは変容したのか」4月11日(木)19:00~20:30(18:30開場)
- 第2回「政治行政制度のどこを変えるべきなのか」4月25日(木)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:各回60名 ■参加費:各回1000円

## 4/16 (火)他 三国志 それぞれの国のかたち(全3回)

講師:渡邊 義浩(早稲田大学文学学術院教授)

「漢」という、後の国家が規範とする「古典中国」が崩壊したのち、中国は魏・蜀・呉の三国が並び立ちます。同じ時代に建国されながら、三国のかたちはそれぞれに異なるものでした。混迷のなか、三国志の英雄たちが模索した国のかたちを比べてみましょう。



襄陽古城と孔明灯

- 日時:第1回「国のかたちをかえる 魏」4月16日(火)19:00~20:30(18:30開場)
- 第2回「新天地を切りひらく 呉」5月14日(火)19:00~20:30(18:30開場)
- 第3回「伝統を守りつづける 蜀」6月18日(火)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:各回200名 ■参加費:各回1000円

## 4/17 (水) 江戸城に入った宮廷と女官たち —もう一つの明治維新~京都から東京へ

講師:扇子 忠(著述業)

明治維新後、京都から東京に遷都され、皇居も東京に移された。帝を取り巻いていた女官たちは、否応なしに后妃と共に東上した。が、女官たちは禁裏の故習に執着し、新政府に対して皇室の権威と既得権を振り翳した。見かねた新政府は、遂に女官制度の改革に踏み切った。一明治政府の宮廷改革と変転する女官の姿を解説します。



- 日時:4月17日(水)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■参加費:1000円

## 4/18 (木) 江戸歴史講座 第59回 田沼意次の財政経済政策

講師:藤田 覚(東京大学名誉教授)

享保4年(1719)に江戸で生まれた田沼意次は、今年生誕300年になる。その生涯は毀誉褒貶相半ばしている。ワイロ・汚職の悪徳政治家か、革新的経済政策を推進した政治家か、相反する評価を受けてきた。講演では、18世紀の幕府財政と関わらせて田沼時代の財政経済政策を考えてみたい。



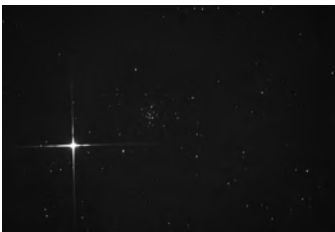
「田沼意次公」萬年山 勝林寺蔵

- 日時:4月18日(木)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■参加費:1000円(千代田区民500円)

## 4/24 (水) 星をたずねて・銀河

講師:皆川 敏春(星のソムリエ@みたか)、北崎 直子(星のソムリエ@みたか)

私たちの住む地球は天の川銀河の中に存在していますが、その銀河系も超おとめ座銀河団の中に含まれる銀河のひとつにすぎません。エドヴィン・ハッブルの観測を糸口に、宇宙の大きさが人智を超えたサイズだとわかったのはつい最近のことです。春は「宇宙の覗き窓」と呼ばれるシーズンです。星座の陰にその姿を潜めています、今宵の星空を仰ぎながら、銀河の歴史、銀河の姿を星のソムリエがご案内します。



撮影:皆川 敏春氏

- 日時:4月24日(水)19:00~21:00(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■参加費:1000円

## ◆古文書塾でたらこや体験講座◆

古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学習を進めています。4月期の開講に合わせて、古文書の世界に無理なく入っていける「体験講座」をご用意いたしました。まずはお試しください。

体験講座 各回 1000円



	講座名	曜日・時間	体験講座実施日
入門コース 120分	古文書のいろは 筆字のくずし字	(月) 10:30~	4/1
		(月) 13:30~	4/1
		(火) 10:30~	3/19
		(火) 13:30~	3/19
		(金) 13:30~	3/22
	いろはの次 — 大江戸大変	(月) 18:30~	4/1
	いろはの次 — 江戸時代の海外知識	(金) 10:30~	3/15

本科コース 120分	講座名	曜日・時間	体験講座実施日
	文人画と碑文 — 掛軸を読む	(日) 13:30~	3/17
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(応用編)	(土) 13:30~	3/23
	翻字者育成講座 国文学研究資料館蔵『源氏物語 若紫』を読む	(土) 14:30~	4/6

特別講座 90分	講座名	曜日・時間	体験講座実施日
	浮世絵を読む【紅色クラス】【藍色クラス】※合同開催	(水) 10:20~	3/20
	開国ニッポンの外国人 — 教室で語る“ドキュメンタリー番組”	(水) 13:30~	3/27
	商家文書を読みとく — 三井の子弟教育	(水) 19:00~	3/27
	江戸を楽しむ — 江戸の寺社あれこれ	(木) 18:30~	3/28
	江戸・明治の書状を読む — 形式と内容、一歩から	(金) 18:30~	3/22
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土) 10:30~	3/23

- 会場:4階セミナールーム(会議室) ■定員:各講座23名(申込順)
- 費用:各講座1000円 ■資料請求・体験講座のお問合せ:電話(03-3502-3340) 日比谷図書文化館代表 古文書塾でたらこ担当 迄

## ● 特別研究室企画展示 ●

## 広告で見る日本統治期台湾の商業地

▶ 3月31日(日)まで開催中

特別研究室の内田嘉吉文庫に残されている日本統治期台湾関連本に掲載されているさまざまな広告を展示し、それらの広告主の所在地を特別研究室所蔵の『火災保険特殊地図』上に紹介しています。台湾の都市が拡大していく過程のある一時期、商業の中心地はどこにあったのか、広告と地図からご覧ください。



東洋協会台湾支部編『台湾時報』第2号(1909年)より

※3月4日(月)より一部展示替えを行います。

## 《次回特別展のおしらせ》

現在、空前の猫ブームと言われていますが、200年も前の江戸時代から猫ブームは存在していました。本展は、浮世絵蒐集家・中右瑛氏が蒐集した浮世絵と近代美人画のコレクションを中心に、暮らしの中に描かれた猫や、猫を愛した芸術家たちの作品約100点を紹介します。

- 期間:2019年4月26日(金)~6月23日(日)
- 会場:1階 特別展示室
- ※詳しくは次号で紹介いたします。

## ポモータ広報室より

照らされる陽の光も少しずつ穏やかになり、春の気配を感じられるようになりました。新しい季節には新しい出会いがある一方で、別れの季節でもあります。よく言われることですが、この世に変わらないことなどはなく、人は忘れることが出来るからこそ生きていけると言います。とはいえ、別れは悲しく、「忘れる」「忘れられる」ことは寂しいものです。木々は葉が落ちると新しい芽吹きが始まります。また、落ち葉は土となり新しい芽の栄養となります。春の訪れは別れと出会いの意味を教えてくださいませんか。

人知れず もの思ふことは ならひにき 花に別れぬ 春しなれば  
~ 和泉式部『詞花和歌集』~